

愛有

25号

発行 立校会
福岡女子高等学校
友修会
印刷 (株) 松古堂印刷

同窓会入会式 ～自立・共生・創造を活かして～

平成31年2月25日に、友修会入会式が母校講堂において開催され、305人の新しい会員を迎えました。式では、福岡賢次校長のご挨拶に続き、江藤会長が友修会についての紹介と共に、「新しい道に進み困ることがあっても、この福岡女子高校で学んだことを活かして乗り越えて行かれるものと信じています」と挨拶しました。

卒業生を代表して、伊東未鈴さんが誓いの言葉を述べました。最後に校歌を斉唱し無事に終了しました。

平成30年度 友修会入会式 代表挨拶

卒業生代表 食物調理科 伊東 未鈴

3年前の4月、私たちは、これから始まる高校生活に期待と不安を胸に入りました。そんな私たちもまもなくこの福岡女子高校を卒業しようとしています。今、ここにいる305名全員の胸の中には、入学式・体育祭・文化祭・修学旅行、各学科の行事、毎日交わした何気ない会話など、どれも忘れられない数えきれないほどの思い出が詰まっています。

平成最後の卒業生として、私たちは、この高校を卒業していきます。

高校生活が驚くほど早く過ぎてしまったように、これからはもっとめまぐるしく時は流れていくでしょう。4月からそれぞれのスタートラインに立ち、新しい道を歩み始めます。この先、新しい環境の中で苦しいことや戸惑うことがあるかもしれませんが、自立・共生・創造をこれからの人生の中でも活かしていきたいと思えます。

この先何十年経とうと、私たちは同じ時代に同じ校舎で青春を共にした仲間たちです。この3年間で築き上げてきた絆は、大切な宝物です。福岡女子高校の卒業生として誇りを持ち、立派な女性になれるよう努力していこうと思えます。

卒業後は、友修会の一員として、先輩方と共に母校の伝統を支え、さらに活気あふれる福岡女子高校となっていくことを願いながら素晴らしいこの学校を見守っていくことをここに誓います。



四半世紀を綴る愛宕浜で思う

校長 箴島賢次



友修会の皆様におかれましては、2019年度、希望に満ちた穏やかな春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、会員の皆様には、日頃より本校教育の充実発展のために、母校並びに後輩に対し、一方ならぬご支援を賜り、誠にありがとうございます。学校を代表しまして、心から御礼申し上げます。

私にとりまして、平成29年4月に校長と

関西支部総会 天岡多美子

友修会関西支部総会を平成30年11月4日ホテルグランヴィア京都で開催しました。

支部総会には学校から箴島賢次校長、本日より江藤淑子新会長、河村副会長、田中副会長の出席を頂きました。

今回は大変嬉しいことに、平成9年卒業の5人の方が小さな子どもさんと共に出席頂き一挙に平均年齢が下がり(笑)、一段と盛り

本校は、これまでの94年の歴史と伝統を礎とし、ここ愛宕浜に新築・移転して以来、4半世紀を積み重ねてまいりました。これから

も更に生徒の自主性・主体性を高めながら、福岡市内唯一の公立女子高校として女子教育を担い、生徒・教職員が一つになって、学校を創り上げていきたいと思っております。

そのためには、校訓である

「ひとりになれる
ひとつになれる
ひとつをつなげる」
(「自立」
「共生」
「創造」)

上がった会となりまして。箴島校長より母校のお話と共にDVDを見せて頂き後輩達の活躍している様子に嬉しくなりました。

江藤会長から友修会会員の絆を大切に役員一同懸命に取り組んでいらつしやる様子に関西支部として微力ながらも協力させて頂きたいと思えました。

懇親会ではちよこつとクイズで頭をひねり、また出席者の個性豊かな自己紹介に笑い感心・感動したりであつという間に楽しい



一時が過ぎました。再来年も、きっと会いたしように約束して笑顔いっぱい総会が開きとなりました。

「自立 共生 創造」を、より心に据える意味合いから以下のように整理し、「社会的・職業的に自立し、社会で役割を持ち、自分らしく生きる女性」の育成に邁進していく所存であります。

友修会の皆様には、今後とも母校並びに後輩に対し、物心両面からの温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

友修会専用ホームページを開設しました。

<https://yushukai.jp>

育む女子力
花咲け未来へ

是非、ご覧ください。

2019年度 友修会総会

日時 2019年6月16日(日)
受付/11:00 総会/11:30

場所 西鉄グランドホテル
福岡市中央区大名2-6-60
TEL.092-781-0211

会費 一般会員 6,000円
70歳以上 4,000円
平成30・31年卒業会員 2,000円

当番年次 昭和53・62年卒・平成10年卒

福女は私の人生と共に

食物科（食物調理科） 浅山 絹子



私が福岡女子高校食物科に新卒で赴任したのは、昭和34年赤坂校舎でした。最初に担任をした卒業生は二昨年に古希のお祝いをしました。今回当番の53年卒の方々は私の五回目の卒業生で、私が四十歳の時でした。

印象深いのは、1年生の終わりの予餞会で「蔵王絶唱」を上演した事です。クラス全員が参加でき

先生お元気ですか

教師としての喜び

生活情報科 中村 優子

平成4年に、当時姪浜にあった本校の家政科に福岡高校・旧福岡商業高等学校より赴任しました。家政科は学科改編で生活情報科に変わりましたが、12年間勤務したのち福岡西陵高校に移り、4年前にまたこの学校に戻りました。

変わらぬオレンジ屋根の校舎と時計台、広々とした運動場、美しい板張りの広い廊下、整った施設設備など懐かしさでいっぱいでした。

そして何よりも女子高らしい生徒たちの明るい笑顔と笑い声に心が和みました。

しかし、時代の変化とともに学校の状況も変わっていて、昔取った杵柄といえども、教科指導や生徒指導に追われる毎日、忙しいながらも充実した日々が続きました。

昨年は41年の卒業生のお誘いで句会に入り、いろいろと教えて戴いています。廻らない頭に活を入れ、感性を呼び起こしながら80の手習いを楽しんでいます。

私が今大切にしていますのは、毎年6、70名の卒業生の方々の年賀状交換です。仕事、子育て、成長目覚ましい子どもや孫の家族写真等、添え書き3・4行の向こうに、暮らしたの姿が微笑ましく想像され、年賀状を見るのは私の至福の時です。

この60年間、福女高と縁が続き、福女高は私の人生と共にありました。なんと幸せなことかと感謝の気持ちで一杯です。友修会の皆様本当にありがとうございます。益々のご発展をお祈りしております。

に秘め、時として驚くほどの活躍を見せてくれたりすることもありました。

私は生活情報科の教員だったので他の学科の様子などあまり分からなかったのですが、この1年は企画・広報の仕事に関わり、内外で学校紹介や説明会を行う中で、本校の生徒会や部活動、各学科等で実に様々な活動が行われていることを改めて知りました。

生徒たちがそれぞれの場で活躍し、生き生きと学校生活を送っていることを、もっと多くの中学生や地域の方にも知っていただきたいと思えます。

本校卒業生の皆様も職場や家庭、あるいは進学先でご活躍のことと思えます。

教員として、自分が関わった生徒達の成長した姿に出会えるのは何者にも代えがたい喜びです。ぜひ、機会があれば学校に足を運んでください。

卒業生は今

平成12年 服飾デザイン科卒業 劇団四季所属 加藤久美子さん

服飾デザイン科卒業の加藤さんは、6歳からクラシックバレエを習い、コンテストにも多数出場してきました。福女では体育祭やフットボールのリーダーも務めました。加藤さんは「私の高校生活は、バレエに真剣に取り組む、学校生活もエンジョイしました。正直、自分では両立はあまり上手ではなかったと思います。しかし、決して模範生とは言えない私を『真剣に集中してやることをやっている』と尊重してくれる先生がとても多かった」と語ってくれました。

中学2年生の時に福岡シティ劇場（現キャナルシティ劇場）で「オ

後「ソング&ダンス」シリーズからはダンスキャプテンとしても活躍しています。

2017年から2018年11月4日までキャナルシティ劇場で上演された「リトルマーメイド」では、ブラスラ役で出演を果たしました。この作品には2013年の初演からアンサンブルとして出演し、ダンスキャプテンとして関わっていましたが、得意分野以外のところで挑戦をしてみたいという思いで、踊りのないブラスラ役にチャレンジしたそうです。

何事にもチャレンジ精神は大切です。今年はどうな作品に出演されるか、今後の活躍が楽しみです。

大切なことは身近にある

平成15年 服飾デザイン科卒業 ワインバー「黄昏」経営 手嶋 渚さん

私という人間を考えた時、高校時代と今と本質的には、ほとんど変わっていないと思う。

自分という中心のようなものがあって、経験や失敗や時間がもたらしたものが周りに肉付いているイメージだ。高校生の時に思い描いていた34才の自分はずっと大人だった。いろいろなことに悩み、傷つき、もがいて自分の行くべき道を真剣に模索していた。

女子校という、ある種の特殊な環境で複雑な人間関係や不安定な友情を築いていた。

一人で行うことには限界がある

と分かった今は、チームで動くことの大切さ、いろいろな人が関わって生まれる大きなエネルギーを、別の誰かや子どもたち、これからの世代のために使いたいと思

うようになった。

自分だからできる働き方、生き方で、お金だけではなく何か新しいポジティブなものを創造したい。そんなことを考えていた時に、この校訓を見て、大切な言葉はいつも近くにあったのに、ずいぶん遠回りをしたなと思った。

来たときよりも少し背筋を正して玄関を出た。



中小企業庁プロジェクト「起業家教育プログラム」の一環として開催された講演会に講師として参加いただきました。

編集後記

平成もあと少し。次の時代が始まろうとしています。同窓生のみならずにはお変わりございませんでしたか。「愛有25号」をお届けいたします。大正時代に女子校が設立されてから、昭和・平成と年号が代わり、もうすぐ次の時代を迎えます。過去を振り返ってみると、驚くほど価値観の変化の中で、その時代において、常に新しい女性を目標に、育ててきた福岡女子校の姿が見えると思います。環境は変われど、一人一人の生徒が、学び、人とのつながりを育て、そして旅立っていく高校生活。その姿を、友修会として見守っていく姿勢は、これからも変わりません。会友の皆さまの絆をつなぐ友修会として、今後も役員一同頑張っています。

友修会事務局

〒819-10013 福岡市西区愛宕浜3丁目2番2号 福岡市立福岡女子高等学校セミナーハウス内 TEL/FAX 092(8882)1858 常駐日/火・水・木曜日 ◆関東・関西にも支部があります 住所や名前の変更の際は連絡してください。

平成30年度 卒業生進路状況

平成31年3月20日現在	
国公立大学	2人
私立大学	51人
海外留学	1人
短期大学	70人
専修学校（合計）	121人
看護・医療系	35人
美容系	14人
調理系	20人
ファッション・デザイン系	9人
ビジネス系	26人
保育・福祉系	1人
その他	16人
就職	49人